

様式 1

教科用図書第 3 採択地区調査委員会

(保 健) 小委員会委員長

皆 川 一 海



調査研究	1 審議結果の概要 (1) 審議の対象となった発行者名及び数 ・東京書籍、大日本図書、文教社、光文書院、学習研究社の 5 者 (2) 調査研究の手順 ・第 1 回調査委員会（6 月 2 6 日）で 5 者の教科書を配布し、調査の観点や手順を協議した。 ・第 2 回調査委員会（7 月 1 5 日、1 6 日）に、各自の調査研究を基に内容別に協議し、様式 1 について整理するとともに、全体を通して各者の特徴をまとめ様式 2、様式 3 を作成した。 (3) 調査研究のための観点、項目 ・取扱内容については、学習指導要領の総則及び各教科各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているかという視点と知識・技能の習得、活用、探究に対応できるよう、実生活に関する内容がどのように取り扱われているかという視点で調査し整理した。 ・内容の程度・排列・分野については、地域の実態や学年の発達の段階に応じて系統的、発展的に組織されているかという観点と内容の分量が、領域ごと、全体としてどのようになっているかという視点で調査し整理した。 ・内容上の配慮等については、児童の学習意欲を高めるような工夫がなされているかという視点と自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるような工夫がされているかという視点と目次など使用上の便宜は図られているかという視点で調査し整理した。
全体を通じての特徴	2 審議結果の概要 (1) 東京書籍については、学習の課題が明確に表示されていることや、学習が「振り返ってみよう」「考えてみよう」「活用して深めよう」と、実生活に即して展開するような工夫がされており、優れている。 大日本図書については、導入において豊富なイラストを掲載し、児童自ら課題を見つけ出し学習を進めていく工夫がなされている。また、「〇〇の先生」という小コラムで豆知識を盛り込んであり、優れている。 文教社については、「つぶやきくん」というキャラクターからのメッセージとして、知識の補足を行い、課題意識を高める工夫や、脚注に豆知識を掲載するなどの全体の構成に工夫が見られ、優れている。 光文書院については、学習方法や課題の解決に導くヒントなどを、マークで表示して学習をスムーズに進めることができる工夫がなされ、学習に関連するホームページのアドレスが掲載されており、優れている。 学研については、キャラクターの吹き出しで学習の進展にヒントを与えたり、脚注に、豆知識を掲載するなどの工夫がなされている。また、文字の大きさや書体を工夫するなど使いやすい配慮がなされており、優れている。 (2) このほか、東京書籍と光文書院については、関連する学習内容を示す記述がされている事、薬物乱用についても触れているなどの話題も出されていた。

保健領域の目標等について
【教科の目標】 心と体を一体としてとらえ、適切な運動の経験と健康・安全についての理解を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てるとともに健康の保持増進と体力の向上を図り、楽しく明るい生活を営む態度を育てる。
【学年・領域等の目標など】 [第 3 学年及び第 4 学年] (3) 健康な生活及び体の発育・発達について理解できるようにし、身近な生活において健康で安全な生活を営む資質や能力を育てる。 [第 5 学年及び第 6 学年] (3) 心の健康、けがの防止及び病気の予防について理解できるようにし、健康で安全な生活を営む資質や能力を育てる。

【参考】

- 保健については、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し改善していく資質や能力を育成するため、一層の内容の改善を図る。その際、小・中・高等学校を通じて系統性のある指導ができるように、子どもたちの発達の段階を踏まえて保健の内容の体系化を図る。また、生活習慣の乱れやストレスなどが健康に影響することを学ぶことが重要であり、健康の概念や課題などの内容を明確に示すとともに、心身の発育・発達と健康、生活習慣病などの疾病の予防、保健医療制度の活用、健康と環境、傷害の防止としての安全などの内容の改善を図る。特に、小学校低学年においては、運動を通して健康の認識がもてるよう指導の在り方を改善する。

○ 標準授業時数

第 3 学年— 1 0 5 単位時間
第 5 学年— 9 0 単位時間

第 4 学年— 1 0 5 単位時間
第 6 学年— 9 0 単位時間

様式 3

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	2・東書	第3,4学年 第5,6学年	保健331 保健531	新編 新しいほけん3・4 新編 新しい保健5・6
取扱内容 各学年の目標、内容等	○ 各学年の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第3,4学年～ 「毎日の生活と健康」については、健康に過ごすための1日の生活について考えたり、身の回りの環境の整え方について考えたりする活動を通して、健康の大切さを認識するとともに、健康によい生活について理解する。 「育ちゆく体とわたし」については、入学してから現在までの自分の身長を調べたり、思春期における体の変化について調べたりする活動を通して、体の発育・発達について理解する。 第5,6学年～ 「心の健康」及び「けがの防止」については、心と体が影響し合っていることについて考えたり、犯罪が起こりやすい場所について考えたりする活動を通して、心の発達及び不安、悩みへの対処やけがの防止について理解する。 「病気の予防」については、感染症や生活習慣病の予防の仕方について考えたり、喫煙や飲酒が健康に及ぼす影響について調べたりする活動を通して、病気の予防について理解する。 ○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第3,4学年～ 事例を基に生活習慣や身の回りの環境について改善点を見付けたり、栄養のバランスがとれた朝食のメニューを選んだりするなど、知識を活用する活動 第5,6学年～ 事例を基に不安や悩みへの対処の仕方やけがの防止の仕方について考えたり、喫煙や飲酒を勧められたときの断り方を考えたりするなど、知識を活用する活動			
内容の構成・排列、分量等	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第3,4学年～ 健康によい生活の仕方について学習した後、学習したことを生かして自分の考えをまとめる活動を位置付け、既習事項を生かすことができるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第5,6学年～ 身近な生活における健康・安全について学習した後、健康に関する目標を立てる活動を位置付け、中学校での指導に結び付けるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ○ 内容の分量については、次のようになっている。 第3,4学年～ 「毎日の生活と健康」は14ページ、「育ちゆく体とわたし」は15ページであり、総ページ数は29ページで、前回と同程度である。 第5,6学年～ 「心の健康」は10ページ、「けがの防止」は18ページ、「病気の予防」は23ページにであり、総ページ数は51ページで、前回より約4パーセント増となっている。			
使用上の配慮等	○ 学習に関連する資料を「まめちしき」等として掲載したり（全学年）各章末に「広げよう」として資料ページを設け、健康に関する今日的な話題などを掲載したり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「考えてみよう」、「話し合ってみよう」などの学習方法を提示したり（全学年）、課題の解決に結び付く視点やヒントをキャラクターの吹き出しで示したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。 ○ 自分の身長の伸びを確認できる目もりや（第4学年）、單元ごとに学習内容の理解の状況をチェックできる「学習を振り返ろう」を掲載したり（全学年）、文字の書体や大きさを工夫したりするなど、使用上の便宜が図られている。			
その他				

様式 3

番号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	4・大日本	第3,4学年 第5,6学年	保健332 保健532	新版 たのしいほけん 3・4年 新版 たのしい保健 5・6年
取扱 内容 各 学 年 の 目 標、 内 容 等	○ 各学年の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第3,4学年～ 「毎日の生活と健康」については、自分の1日の生活を振り返り、規則正しい生活について考えたり、身の回りの環境の整え方について考えたりする活動を通して、健康の大切さを認識するとともに、健康による生活について理解する。 「育ちゆく体とわたし」については、1年生から4年生までの自分の体格の変化を調べたり、健康による食事の内容について考えたりする活動を通して、体の発育・発達について理解する。 第5,6学年～ 「心の健康」及び「けがの防止」については、不安や悩みに関する自分の経験を振り返ったり、犯罪被害に遭わない行動の仕方を考えたりする活動を通して、心の発達及び不安、悩みへの対処やけがの防止について理解する。 「病気の予防」については、生活習慣病の予防に関する自分の経験を振り返ったり、喫煙や飲酒が健康に及ぼす影響について調べたりする活動を通して、病気の予防について理解する。 ○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第3,4学年～ 健康による生活を送るために自分が気を付けることを考えたり、思春期の体や心が変化する時期の生活の仕方について考えたりするなど、知識を活用する活動 第5,6学年～ 自分が不安や悩みをもったときの対処の仕方について考えたり、喫煙や飲酒などを勧められたときの断り方を考えたりするなど、知識を活用する活動			
内 容 の 構 成・ 排 列、 分 量 等	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第3,4学年～ 体の変化や発育の違いについて学習した後、命の大切さを扱う発展的な内容を位置付け、体をよりよく発育・発達させる大切さについて認識を深められるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第5,6学年～ 喫煙による健康への害について学習した後、人から勧められたときの断り方を学習する活動を位置付け、飲酒も同様の流れで繰り返し学習できるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ○ 内容の分量については、次のようになっている。 第3,4学年～ 「毎日の生活と健康」は14ページ、「育ちゆく体とわたし」は14ページであり、総ページ数は29ページで、前回と同程度である。 第5,6学年～ 「心の健康」は12ページ、「けがの防止」は14ページ、「病気の予防」は22ページであり、総ページ数は49ページで、前回より約9パーセント増となっている。			
使 用 上 の 配 慮 等	○ 各単元の導入で、学習をナビゲートするゲームを掲載したり（全学年）、学習に関連する資料やホームページのアドレスを「ミニちしき」などとして掲載したり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「やってみよう」、「話し合ってみよう」などの学習方法を提示したり（全学年）、課題の解決に結び付く視点やヒントをキャラクターの吹き出しで示したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。 ○ 目次に学習する内容と学習の仕方の流れや（全学年）、自分の成長の変化に興味・関心をもって学習することができるシールを掲載したり（第4学年）、色づかいや表現を簡潔に記述したりするなど、使用上の便宜が図られている。			
その他				

様式 3

番号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	207・文教社	第3,4学年 第5,6学年	保健333 保健533	わたしたちのほけん3・4年 わたしたちの保健 5・6年
取扱 内容 各学年の目標、内容等	○ 各学年の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第3,4学年～ 「毎日の生活と健康」については、生活リズムの見直しを考えたり、体を清潔にするために気を付けていることを振り返ったりする活動を通して、健康の大切さを認識するとともに、健康によい生活について理解する。 「育ちゆく体とわたし」については、自分の体格の変化や発育の個人差について調べたり、思春期における異性とのかかわり方について考えたりする活動を通して、体の発育・発達について理解する。 第5,6学年～ 「心の健康」及び「けがの防止」については、不安や悩みに関する自分の経験を振り返ったり、けがを防ぐためのめあてを考えたりする活動を通して、心の発達及び不安、悩みへの対処やけがの防止について理解する。 「病気の予防」については、病原体が主な要因となって起こる病気の予防の仕方について考えたり、喫煙や飲酒などが健康に及ぼす影響について考えたりする活動を通して、病気の予防について理解する。 ○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第3,4学年～ 自分の生活調べを通して生活リズムを見直す点について考えたり、よりよい発育のために心掛けたいことを考えたりするなど、知識を活用する活動 第5,6学年～ 自分の学校の「校内安全点検」や地域の安全点検をしたり、自分が食べているおやつの脂肪分や塩分の量を調べたりするなど、知識を活用する活動			
内容の構成・排列、分量等	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第3,4学年～ 体の清潔について学習した後、手や1日着た衣類の汚れを調べる学習を位置付け、調べたことを生かして学習内容の定着が図られるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第5,6学年～ 思春期の心の健康について学習した後、友達の不安や悩みへのアドバイスを考える学習を位置付け、自分から他者へと考える視野を広げられるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ○ 内容の分量については、次のようになっている。 第3,4学年～ 「毎日の生活と健康」は10ページ、「育ちゆく体とわたし」は14ページであり、総ページ数は25ページで、前回と同程度である。 第5,6学年～ 「心の健康」は10ページ、「けがの防止」は12ページ、「病気の予防」は22ページであり、総ページ数は45ページで、前回より約10パーセント増となっている。			
使用上の配慮等	○ 児童が親しみやすい大人のキャラクターを用いて本文の補足をしたり（全学年）、「情報コーナー」を設け、学習に関連する資料やホームページのアドレスを掲載したり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 学習する内容に応じて「考えてみよう」、「話し合ってみよう」などの学習方法を提示したり（全学年）、課題の解決に結び付く視点やヒントを示したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。 ○ 自分の身長伸びを確認できる目もりや（第4学年）、心の健康について課題意識をもって学習に取り組むことができるチェック欄を掲載したり（第5学年）、文字の書体や大きさを工夫したりするなど、使用上の便宜が図られている。			
その他				

様式3

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	208・光文	第3,4学年 第5,6学年	保健334 保健534	新版 小学ほけんけんこうってすばらしい 3・4年 新版 小学保健見つめよう健康 5・6年
取扱内容 各学年の学習指導要領の総則及び各教科、内容等	○ 各学年の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第3,4学年～ 「毎日の生活と健康」については、1日の生活を振り返り、生活時間表を作ったり、身の回りの環境の整え方について考えたりする活動を通して、健康に大切さを認識するとともに、健康によい生活について理解する。 「育ちゆく体とわたし」については、個人による身長伸び方の違いを調べたり、思春期における男女の体の変化を比べたりする活動を通して、体の発育・発達について理解する。 第5,6学年～ 「心の健康」及び「けがの防止」については、心と体の関係について考えたり、危険を予測し、安全な行動の仕方について考えたりする活動を通して、心の発達及び不安、悩みへの対処やけがの防止について理解する。 「病気の予防」については、病原体が主な要因となって起こる病気の予防の仕方について考えたり、喫煙や飲酒などが健康に及ぼす影響について考えたりする活動を通して、病気の予防について理解する。 ○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第3,4学年～ 自分のこれからの生活や体の清潔を保つことについて気を付けたいことを考えたり、毎日続けられる自分に合った運動について考えたりするなど、知識を活用する活動 第5,6学年～ 身の回りにおける危険から身を守るための対処の仕方について考えたり、喫煙や飲酒などを勧められたときの断り方を考えたりするなど、知識を活用する活動			
内容の構成・排列、分量等	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第3,4学年～ 自分の生活の仕方について学習した後、食育に関する内容を位置付け、学習したことを実生活に生かすことができるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第5,6学年～ 交通事故の防止について学習した後、安全な行動の仕方について学習する活動を位置付け、犯罪被害の防止も同様の流れで繰り返し学習できるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ○ 内容の分量については、次のようになっている。 第3,4学年～ 「毎日の生活と健康」は12ページ、「育ちゆく体とわたし」は14ページであり、総ページ数は29ページで、前回と同程度である。 第5,6学年～ 「心の健康」は10ページ、「けがの防止」は18ページ、「病気の予防」は20ページであり、総ページ数は49ページで、前回より約9パーセント増となっている。			
使用上の配慮等	○ 知っておくためになる内容や学習に関するホームページのアドレスを掲載したり（全学年）、健康に関する今日的な話題などを「保健の広場」として掲載したり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 話し合いや記述などの学習方法をマークで提示したり（全学年）、課題の解決に結び付く視点やヒントをキャラクターの吹き出しで示したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。 ○ 既習の内容について、確認・復習するためのマークや（全学年）、ページ下に学習内容のまとめりごとの区切りのマークを掲載したり（全学年）、色づかいや表現を簡潔に記述したりするなど、使用上の便宜が図られている。			
その他				

様式 3

番号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	224・学研	第3,4学年 第5,6学年	保健335 保健535	新・みんなのほけん3・4年 新・みんなの保健 5・6年
取扱 内容 各 学 年 の 目 標、 内 容 等	○ 各学年の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第3,4学年～ 「毎日の生活と健康」については、生活の仕方による心や体の調子の変化について振り返ったり、手や下着などの汚れを調べたりする活動を通して、健康の大切さを認識するとともに、健康によい生活について理解する。 「育ちゆく体とわたし」については、台紙を使って自分の身長伸びを調べたり、給食の献立を調べたりする活動を通して、体の発育・発達について理解する。 第5,6学年～ 「心の健康」及び「けがの防止」については、事例を基に自分の気持ちの伝え方を考えたり、事故が起こりやすい行動について予測したりする活動を通して、心の発達及び不安、悩みへの対処やけがの防止について理解する。 「病気の予防」については、病原体が主な要因となって起こる病気の予防の仕方について考えたり、喫煙や飲酒などが健康に及ぼす影響について調べたりする活動を通して、病気の予防について理解する。 ○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第3,4学年～ 身の回りの生活環境を整えるために自分が気を付けることを考えたり、体がよりよく成長するために自分が実行することを考えたりするなど、知識を活用する活動 第5,6学年～ 身の回りの事故や犯罪が起こりやすい場所などを調べて、地域の安全マップ作りをしたり、飲酒や喫煙などを勧められたときの断り方を考えたりするなど、知識を活用する活動			
内 容 の 構 成・ 排 列、 分 量 等	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第3,4学年～ 健康によい生活の仕方について学習した後、リズムのある生活について考える活動を位置付け、学習したことを実生活に生かすことができるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第5,6学年～ 心と体のつながりについて学習した後、思春期における不安や悩みについて考える学習を位置付け、心と体のつながりについて関連を図りやすいようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ○ 内容の分量については、次のようになっている。 第3,4学年～ 「毎日の生活と健康」は14ページ、「育ちゆく体とわたし」は17ページであり、総ページ数は33ページで、前回より約32パーセント増となっている。 第5,6学年～ 「心の健康」は12ページ、「けがの防止」は14ページ、「病気の予防」は25ページであり、総ページ数は53ページで、前回より約29パーセント増となっている。			
使 用 上 の 配 慮 等	○ 学習に関連する資料やホームページのアドレスを脚注などに掲載したり（全学年）、学習の見通しをもてるよう単位時間の学習課題を各項目のタイトルの近くに示したり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「考えてみよう」、「調べてみよう」などの学習方法を提示したり（全学年）、課題の解決に結び付く視点やヒントをキャラクターの吹き出しで示したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。 ○ 目次に健康の概念を表すイラストや（全学年）、まとめのページに学習の振り返りや学びを生かした取組ができる「学習のまとめ」を掲載したり（全学年）、文字の書体や大きさを工夫したりするなど、使用上の便宜が図られている。			
その他				